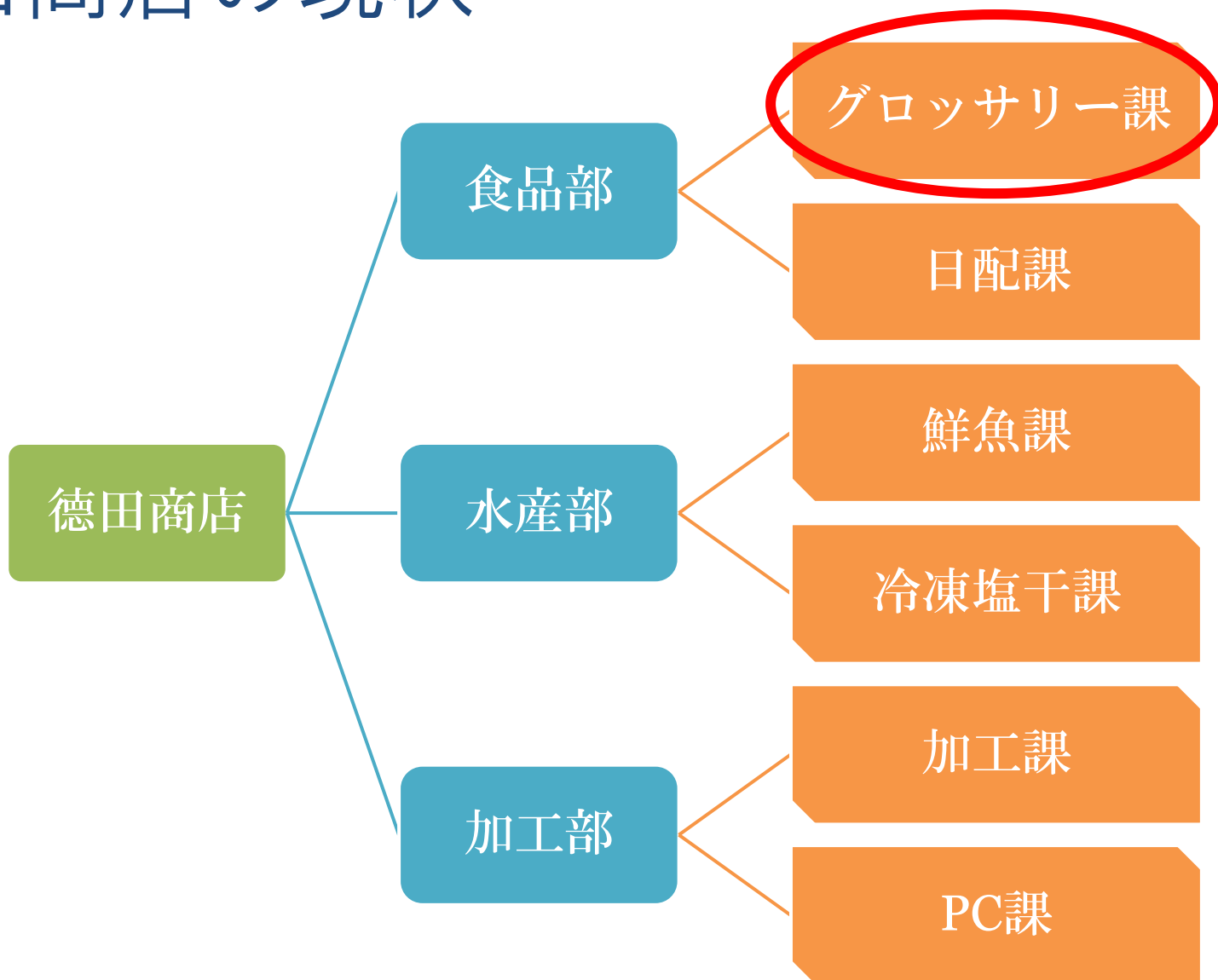


デジタル化による商品管理の取組

株式会社 徳田商店

徳田商店の現状



食品部 グロツサリー課

- 取り扱いアイテム数
- 1日ピッキング件数
- 倉庫床面積

10,000商品以上
約5,000件
約4,000平米



今までの問題点

- 多品種・類似品による商品間違い
- 出荷単位・数量間違い



- 出荷数量の増加で作業が間に合わない



- 熟練者依存、人員増減対応力不足

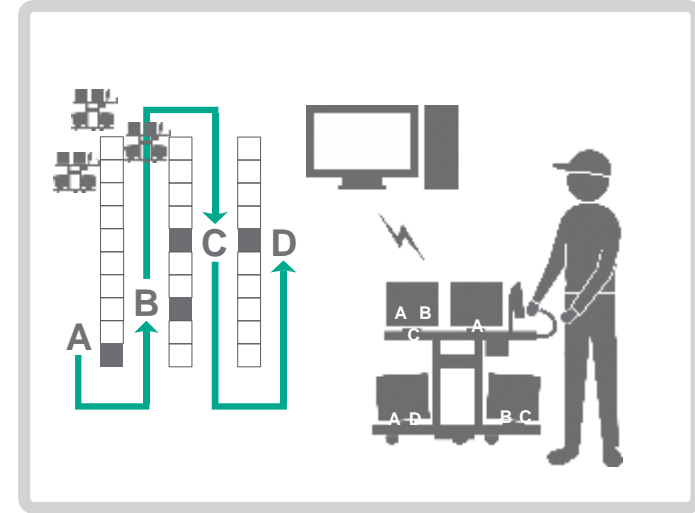


解決策

～デジタルピッキングカート導入～



PKGGM-2100D



- 各カートにピッキングデータを配信します。
- セールや売れ筋商品のオーダーが集中した場合は、その商品を避けた効率の良いピッキングデータを作成します。
- 最も効率的なピッキング作業を可能になり作業スピードがUPします。

解決策

～デジタルピッキングカート導入～

▶ 出荷精度の飛躍的なアップ



▶商品違い防止

① **商品照合機能** : 商品のバーコードをスキャンして『商品違い』を防止

ピッキング時の商品判別判断を迅速に行えるよう、補助機能として商品写真の表示も可能です。出荷荷姿の写真を入れることで、派遣の方でも出荷単位に迷わず作業可能です。

▶数量違い防止

② **計量機能** : 商品重量から出荷数量をチェックして『数量違い』を防止

▶納品違い防止

③ **検知機能** : どの秤が検知したかで『納品違い』を防止

※GS1バーコードについては、バーコード仕様お打合せの上対応となります。

解決策

～デジタルピッキングカート導入～

新人の作業者でも、約15分程度のトレーニングで作業スタート！

誰でも簡単操作・驚きの習熟時間短縮

生産性はキャラクター表示



難しい操作を省き、誰でも簡単な操作を実現します。
外国人労働者／高齢者でも作業可能です。